

記念スタンプ欄



利用案内

入館料 無料  
 開館時間 9時30分～17時(入館は16時30分まで)  
 休館日 毎月の水日  
 12月28日～翌年1月4日

交通案内

**東京メトロ**  
 (有楽町線・半蔵門線・南北線)  
 永田町駅下車 2番出口より徒歩5分  
 (有楽町線)  
 桜田門駅下車 1番出口より徒歩7分  
 (丸の内線・千代田線)  
 国会議事堂前駅下車 2番出口より徒歩7分

**都営バス**  
 (新橋駅～小島橋駅)  
 国会議事堂前下車 徒歩3分  
※一般駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮ください。

衆議院事務局  
**憲政記念館**



〒100-0014 東京都千代田区永田町1-1-1  
 TEL 03-3581-1651  
<http://www.shugin.go.jp>

憲政記念館は、1970年(昭和45)にわが国が議会開設80年を迎えたのを記念して、議会制民主主義についての一般の認識を深めることを目的として設立され、1972年(昭和47)3月に開館しました。

当館のある高台は、江戸時代の初めには加藤清正が屋敷を建て、その後彦根藩の上屋敷となり、幕末には藩主であり、時の大老でもあった井伊直喜が居住し、後に明治時代になってからは参謀本部・陸軍省がおかれしました。

1952年(昭和27)にこの土地は衆議院の所管となり、1960年(昭和35)には、憲政の功労者である尾崎行雄を記念して、尾崎記念会館が建設されました。その後これを吸収して現在の憲政記念館が完成しました。

当館では、国会の組織や運営などを資料や映像によってわかりやすく紹介するとともに、憲政の歴史や憲政功労者に関係のある資料を収集して常時展示するほか、特別展などを開催しています。





●憲政史シアター(約25分)

議会思想が移入された幕末から明治維新、帝国憲法の制定、帝国議会の開設を経て、戦後、新憲法の制定によって新しい国会が発足し、今日に至るまでの「憲政の歩み」をハイビジョン映像で見ることができます。



●憲政史映像選択コーナー

3台のモニターで、「国会のすすめ」・「憲政の歩み」・「憲政のあけぼの」・「帝国議会の歩み」・「新しい国会の歩み」・「議員参政への道」・「議事堂ものがたり」・「憲政維新運動から普選の実施まで」・「昭和の開幕から新国会の誕生まで」など17本のソフトを選択して見ることができます。

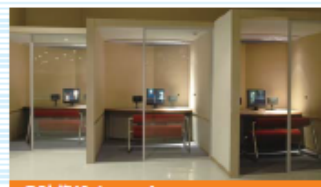
2階  
第1展示室



●憲政の歩みコーナー・壁面コーナー

明治維新から帝国議会を経て現在の国会に至る憲政の歩みを、文書類をはじめ、関係資料・写真などで見ることができます。また、憲政の歴史に関する資料を企画展示しています。

- 主な展示資料
- 大日本帝国憲法(複製号外)
  - 田中正造の足尾銅山鉱毒についての質問書
  - 伊藤博文遺囑関係 安重根発射の弾丸
  - 原敬首相演説原稿
  - 宇垣一成演説録
  - 浅沼欣次郎遺囑当日の演説原稿等



●映像検索コーナー

3台のパソコンで、「憲政史上の人々」、「歴代の衆議院議長」、「歴代の内閣総理大臣」、「路線紹介」の中から好みの項目を検索して、人物の肉声を聞いたり、略歴などを見ることができます。



●立体ビジョンコーナー(10分)

帝国議会第1次仮議事堂に初登壇する議員たちのありさまや、はじめての議会における衆議院議場での議長選挙の様態などを立体映像で見ることができます。

1階  
第2展示室



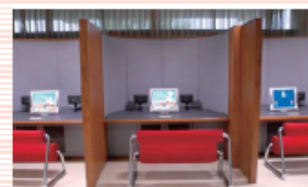
●尾崎メモリアルホール

衆議院議員当選25回、議員として60年7カ月在職し、衆議院から憲政功労者として表彰され、名誉議員の称号を贈られた尾崎行雄の足跡をしのんで、遺品、著作、書誌、写真などを集めて展示しています。



●演壇体験コーナー

本会議開会ベルが鳴り、内閣総理大臣の演説する映像が映し出されます。これを演壇に座って見ることができます。また、演壇や議席で自由に記念写真を撮ることもできます。



●国会の仕組みコーナー

5台のパソコンで、国会の仕組みや世界の議会をわかりやすく紹介するほか、国会の知識をQ&Aのクイズ方式でランキングを競うなど楽しみながら学習できます。

(例) Q 内閣が先に衆議院に提出しなければならないのは何?

A 予算



●情報検索コーナー

10台のパソコンで、憲政記念館特別展の展示資料・映像ソフトや、衆議院審議付録などを見ることができます。



桜  
桜は現在約160本あり、3月上旬～4月下旬に見頃を迎えます。



ハナミズキ  
ハナミズキは現在約160本あり、4月下旬～5月上旬に見頃を迎えます。



日本水守館  
(1891年(明治24)設置)  
全国の土地の標高を決める基準点です。



藤の井  
藤板藩伊東の表門前にあり、江戸の名水として知られていました。